

令和7年12月16日
水管理・国土保全局河川環境課

土砂・流木の影響を考慮した浸水想定区域図の作成手法を検討します ～「土砂・流木を考慮した中小河川の水害リスク評価に関する技術検討会」の開催～

令和6年1月の能登半島地震および令和6年9月の能登半島豪雨災害を受けて、「能登半島での地震・大雨を踏まえた水害・土砂災害対策検討会」を設置し、令和7年6月には同検討会から「土砂や流木の影響を見込んだハザードマップの導入など、リスク情報の充実、提供を進めるべき」との提言を頂きました。

このため、中小河川の浸水想定区域図の作成に必要な土砂・流木の影響による水位上昇や氾濫域を評価する手法等を検討する「土砂・流木を考慮した中小河川の水害リスク評価に関する技術検討会」を設置し、第1回の検討会を12月18日（木）に開催します。

【会議について】

1. 日 時：令和7年12月18日（木）14:00～16:00
2. 場 所：中央合同庁舎3号館1階水管理・国土保全局局議室（WEB併用）
3. 委 員：別紙のとおり
4. 議 題：
 - ・検討の背景
 - ・近年の土砂・流木を伴う洪水被害を踏まえた課題
 - ・土砂・流木の影響による水位上昇や氾濫域を評価する手法
5. 取材等：
 - ・会議は非公開で行いますが、報道関係者に限り委員会の冒頭（議事に入るまで）のみ傍聴・カメラ撮りが可能です。
※ご希望の報道関係者の方は、13:45までに3号館1階エレベーターホールにお集まりください。
 - ・検討会終了後、事務局による記者ブリーフィングを下記のとおり行います。
＜記者ブリーフィング＞
日 時：令和7年12月18日（木）16:30～
場 所：中央合同庁舎3号館1階水管理・国土保全局局議室 ※カメラ撮り不可

・取材をご希望の報道関係者は、12月17日（水）15時までに、以下のとおりメールにてお申し込み下さい。

件名：【取材希望】

本文：氏名（ふりがな）、所属、連絡先（電話、メールアドレス）、
参加内容（傍聴・カメラ撮り／記者ブリーフィング）

送付先：hqt-drkentou【a】gxb.mlit.go.jp

※【a】を@に変換して送信して下さい。

※取得した個人情報は適切に管理し、必要な用途以外に利用しません。

6. 会議資料及び議事要旨は、後日、国土交通省ウェブサイトに掲載予定です。

https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/river/mizukokudo04_mn_000009.html

【問い合わせ先】

水管理・国土保全局 河川環境課 水防企画室 麓、小川

代表 03-5253-8111（内線 35451、35456）、直通 03-5253-8460

土砂・流木を考慮した中小河川の水害リスク評価に関する技術検討会

委員名簿

(有識者)

池内 幸司 東京大学 名誉教授、
一般財団法人 河川情報センター 理事長

内田 太郎 筑波大学 生命環境系 教授

加藤 千恵 建設コンサルタント協会 河川計画専門委員長

呉 修一 富山県立大学 工学部 環境・社会基盤工学科 教授

小林 健一郎 埼玉大学 理工学研究科 教授

佐々木 雅章 岩手県 県土整備部 技術参事兼河川課総括課長

水頭 顕治 広島県 土木建築局 河川課長

田中 尚人 石川県 土木部 次長兼河川課長

中森 健一 福岡県 県土整備部 河川管理課長

二瓶 泰雄 東京理科大学 創域理工学部 社会基盤工学科 教授

溝口 敦子 名城大学 理工学部 社会基盤デザイン工学科 教授

(関係省庁)

岡本 勝浩 国土地理院 応用地理部 地理情報処理課長

竹下 哲也 国土技術政策総合研究所 河川研究部 水防災システム研究官

(敬称略、五十音順)